

2016年3月期 第3四半期決算 電話会議  
質疑応答要旨

日 時： 2016年2月12日 17:10-17:55

※内容については、理解しやすいよう、部分的に加筆・修正しています。

**【業績】**

問 2015年10月以降、新契約年換算保険料が伸びた理由は何か。また、今後もこの傾向が継続していくのか。

- 昨年10月に短期払養老保険を創設するとともに、終身保険の加入年齢範囲を引き上げた効果により、第3四半期は順調に新契約を伸ばすことができた。
- 来年度の事業計画は現在策定中であるが、引き続き、新契約を伸ばしていけるよう営業推進を図っていきたい。

問 当期純利益は計画対比、順調に進捗とのことだが、法人税減税に伴う繰延税金資産の取崩しの影響はどうか。

- 繰延税金資産の取崩しにより、昨年度は当期純利益に約▲150億円の影響があったが、今年度はその半分程度の影響と見込んでいる。

問 新区分での利差益を教えてください。

- 利差益に関して新旧区分別の開示は行っていないが、旧区分において若干の逆ざやとなっている。

### 【還元方針】

問 株主還元に関して、株主配当と自社株買いの方針を教えてください。

- 現時点では、今年度の業績が順調に進捗しているため、業績予想でお示ししているとおりの配当（1株当たり配当金56円）は可能と考えている。
- 日本郵政からの自社株買いについては、当社の財務状況と日本郵政の意向が合えば選択肢になり得ると考えているが、現時点で具体的に決定している事実はない。

### 【資産運用】

問 マイナス金利の導入を受けた今後の資産運用方針を教えてください。リスク性資産を10%程度まで積み増す方針に変更はあるか。

- 最近の低金利環境を踏まえ、資産の長期化のペースを緩める一方、リスク性資産を総資産の6.4%（12月末時点）まで増やしており、これを今後10%程度まで積み増す方針にある。マイナス金利導入後も、現時点ではこうした方針に変わりはない。
- ただし、今後の市場動向を注視しつつ、収益性とリスク許容度のバランスを勘案しながら、柔軟に対応していきたい。

問 外国債券について、為替ヘッジはどれくらいしているか。

- 外国債券について、今年度は概ね50%ほどを為替ヘッジしている。

### 【予定利率】

問 来年4月の標準利率引下げを踏まえ、予定利率を引下げた場合、貯蓄性商品の販売は維持できるか。予定利率の引下げを見送った場合、会計上の利益に与える影響をどのように考えているか。

- 標準利率の引下げによる影響は、現在社内で検討中であり、商品の販売、責任準備金の積立負担、利益への影響等を総合的に勘案した上で、対応を決めていきたい。

問 予定利率の引下げを行う場合、郵政民営化委員会の審議等、かんぽ生命固有の手続きはあるか。

- 郵政民営化委員会の調査審議の手続きはなく、前回 2013 年度に医療特約の予定利率を改定した際は、他社並みのリードタイムで実施した。

### 【再保険】

問 本年 1 月に認可申請した再保険の引受けに関して、背景と今後のスケジュールを教えてください。

- 今回認可申請した再保険の対象範囲は、日本郵便又は当社が受託する商品・受託元会社であり、当社にとっては、収益源の多様化、リスク分散による財務の健全化が期待できるほか、他の保険会社との連携強化等を目的としている。
- 現在、郵政民営化委員会でご審議いただいております。認可取得できれば、社内準備と元受保険会社との契約締結が整い次第、開始することとなる。

問 ESR 等からみて、再保険の引受けキャパシティは十分あるとの理解でよいか。

- 現状の財務健全性やリスク管理態勢等を考慮すれば、再保険の引受けに問題はないと考えている。

問 再保険の対象となる商品は、事業者向けを考えているのか、それとも、個人向けを考えているのか。

- 認可取得できれば、対象となる元受保険会社のご意向も踏まえて検討する予定であり、ニーズに応じて幅広く対応していきたい。

## 【EV】

問 直近の経済前提で計算したEV及び新契約価値を教えてください。

- EVは四半期毎に開示しており、期中の数値については開示を控えさせていただくが、2015年9月末基準で公表した感応度をご参照いただければ、概ね近い数値が推計可能である。

問 EVの金利感応度について、どの年限の金利変動が最も影響するか、資産・負債別に教えてください。

- 計測時点の資産・負債の状況により異なるため一概には言えないが、全体では概ね20年超の金利による感応度が大きい。

問 EVを考える上で、新旧区分別の株式・外国債券のエクスポージャーをどのように見ればよいか。

- 現在、リスク性資産5.3兆円のうち、約4割を新区分が占めている。
- 外国債券においては、概ね50%ほどを為替ヘッジしているため、EVの感応度に与える影響は限定的である。

### <免責事項>

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいており、将来の業績は、経営環境に関する前提条件の変化等に伴い、予想と異なる可能性があることにご留意ください。